公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大津市立 やまびこ園		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47人(46家族)	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 34人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援プログラムが充実していること	連絡ノートのやり取りや親子保育、各種懇談、様々な学習会を実施し、子育ての応援をしている。必要に応じて父母の会のサポートをはじめ、保護者同士の交流機会をつくっている。	プログラムをわかりやすく体系化し、どの保護者にも、経験してもらいたいこと、選択できること、を明確にする。
2	こどもの生活とあそびを保障する療育を提供していること	こどもたちがこどもらしい生活を送ることを基本に、食べること、寝ること、排泄すること、遊ぶことの1つ1つを丁寧に積み重ねていく療育を行っている。	今後も給食の提供や送迎バスの運行をはじめ、環境の整備を丁寧にいき、こどもたちや保護者が安心して通える施設運営に努める。
3	地域との交流を行っていること	近隣園7カ園と各クラスがそれぞれ年間計画を立てて、双方の園を行き来し交流保育をしている。	近隣の保育園・こども園・幼稚園と交流を実施していくことで、交流したこどもたちの成長に伴い、地域におけるやまびこ園の認知度をさらに高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への連絡やお知らせが、緊急時のメール配信以外は、ほぼ紙のおたよりで行っている。	公立の保育園幼稚園はすでに携帯用アプリを導入しているが、療育は導入が遅れている。	導入することによるデメリットなども含めて、調査、検討をすすめていく。
2	こどもたちが散歩に出かけるところや自然に触れる機会が少ない。	国道沿いに建っていることや交通量の多い住宅街であることから、安心して散歩ができる道や自然に触れにくい環境である。	現在は年1～2回の親子遠足時にバスを利用して、自然に触れられる場所へ行っている。日頃の療育の中でもバスを利用し、自然に触れる機会を増やす。
3	園の畑の野菜や芋などが不作で少量しか収穫できない。こどもたちが実物を収穫したり、クッキングをしたりと、豊かな経験をしてもらいたいが、保障しきれていない。	畑のスペースが狭く、日当たりが良すぎる場所と当たらないところがあること、土が痩せてきていることなどから、安定した収穫になっていない。	畑に詳しい方に助言を仰いだり、新たな場所を開拓したりし、安定した収穫でこどもの豊かな経験を保障する。